

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	職業を理由とした県外との転出入数(政策11) 日頃から災害に対する備えをしている市民の割合(政策13) 市域から排出される温室効果ガスの削減量(政策16) スポーツ環境への満足度(政策3)	作成日	R6.4.1
組織名(部)	秋葉区役所	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標		指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
	総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要				
1	「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図るとともに、移住者増のための仕組みづくりに取り組みます。	政策11-1-③	移住検討者及び移住者からの相談件数	30件	11件	アキハスムプロジェクトVol.3	・AKIHA移住コンシェルジュを設置し、秋葉区への移住検討者からの相談対応のほか、移住者からの相談にも対応します。	△	・移住定住の取組について近隣都市(三条市・阿賀野市)との意見交換を行いました。 ・他都市の事例を参考に移住相談者カードを修正し、業務フローを改善しました。 ・各コミ協で把握している空き家情報を共有し、移住検討者への相談対応強化を図りました。 ・1月4日に銀座・新潟情報館「THE NIIGATA」で秋葉区のプレイヤーとの移住＋物産フェアを移住コンシェルジュと共催して150人超の来場者を迎えて、移住・交流・関係づくりを行いました。	・首都圏での移住＋物産フェアを開催し、秋葉区への移住をPRしていきます。 ・U. Iターン促進に向け、さらに大学との連携を促進します。
		政策11-1-①	移住コンシェルジュの人的ネットワーク構築と会議開催	12回	32回		・移住相談窓口を市特設webサイトやSNSにより情報発信します。 ・ネットワーク構築により相談者への対応を強化します。		・8月に移住体験ツアーのアテンドをし、東京農業大学の学生等と意見交換を行い、また区の魅力を発信しました。 ・区内の民間企業や県などと意見交換を行い、移住ネットワークの強化を図りました。 ・10月に移住コミュニティミーティングを開催し、移住ネットワークの拡充を図りました。 ・11月に地域交流センターで東京農業大学成果発表会を行い、関係人口創出について意見交換を行いました。	・構築した人的ネットワークを移住コンシェルジュが主体となって、今後の業務に活かせる仕組みづくりを進めます。

2	「安心安全なまちづくり」を推進するため、災害発生時に備えた対応の強化に取り組みます。	政策13-1-①	秋葉区一斉防災訓練の実施	1回	1回	秋葉区一斉防災訓練	災害が発生したと想定して、秋葉区一斉に災害情報を様々な方法で発信します。	○	・6月16日に地震が発生したことを想定して、様々な媒体により災害情報を発信、それを受けて、各地域が防災訓練を実施しました。	R7年度は今回の実施をふまえ、引き続き実施予定です。
3	脱炭素社会の構築に向けて、秋葉区内の公共施設の中でもエネルギー消費量が多い、秋葉区役所庁舎のZEB化に取り組み、省エネ・再エネを推進します。	政策16-1-①	秋葉区役所庁舎のZEB化可能性調査(エネルギー性能計算)を完了し、ZEB化の可否判断を依頼する。	進捗率100%	進捗率100%	秋葉区役所庁舎ZEB化事業	・ZEBプランナーと委託契約を締結し、秋葉区役所庁舎のZEB化可能性調査を実施します。 ・調査の結果をもとに、公共建築物チームが、ZEB化が可能かを簡易判断をします。	○	EMS(ZEBプランナー)と委託契約を締結し、ZEB化可能性調査を実施した。調査結果を公共建築物チーム(環境政策課)に分析を依頼済です。	R7年度はZEB化検討業務委託(設計提案、改修計画を含む)を公共建築物チーム(環境政策課)から発注する予定です。
4	部活動の地域移行を円滑に進めるため、各団体や地域と連携し受け入れ体制の構築を図り、スムーズな地域移行を支援します。	政策3-1-② 政策5-3-①	勉強会等の開催回数	2回	2回	部活動の地域移行に向けた勉強会	スポーツ及び文化団体を対象に、部活動の地域移行に向けた進め方や取組み方法について、検討してもらう機会を提供します。	○	第1回を7/9に開催。2回目として11/30の地域クラブ活動体験会の開催時に、秋葉区のブースを出展し区の団体情報等を提供した。また各団体へ出展を働き掛けたり、対象者への呼びかけを行いました。	新規地域クラブ立ちあげなどの相談に対し、関係団体と繋ぐなどの支援をしていきます。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R6.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	適正な事務執行の確保と総合的な案内を実践するため、係横断型の研修を実施し、市民対応の質の向上を図ります。	行政1-1-①	課内研修の実施	6回	18回 (区民窓口係5回、給付係5回、税保険料係3回、生活環境係5回)	課内研修の実施	各係ごとで、NCSISに基づいて、現況にあった業務手順書を作成・見直しを行い、課内研修の資料として利用。研修を通して業務の共有を図り、窓口サービスの一元化に取り組みます。	○	窓口サービスの一元化を目指し、課内で共有したい業務を決め、研修会を実施しました。研修会資料に業務手順書を活用し、業務の制度や根拠法令等を学び目標を達成しました。	窓口アンケートの結果、待ち時間の短縮を望む声が多かったことから、業務手順の見直しが必要であるため、引き続き、各業務のマニュアルの整備を進めるとともに、より効果的な研修実施に努めます。
2	日常業務の改善を進めるとともに、効率的な業務を行うため、職員提案を促し窓口業務の改善に努め、市民満足度の一層の向上を図ります。	行政1-1-①	窓口アンケートの実施 窓口アンケートの平均点(点)	平均点4.5点以上	平均点4.4点 (前期4.34) (後期4.47)	窓口アンケートの実施	窓口アンケートにより、市民ニーズを把握し市民満足度の向上を図ります。	×	窓口アンケートの項目を見直し、年2回(前期9月、後期2月)実施しました。目標である平均4.5点には届きませんでしたが、係別集計では一部目標を達成しました。また、アンケートにおいて指摘があった事項の改善に努めました。	窓口アンケートに寄せられた意見において、接遇に問題があることの内容が寄せられていることから、接遇対応の改善を図り、利用者から納得感を得られる窓口対応を構築します。
2	ゴミの無いきれいな生活環境の保持に努めます。		パトロールの実施	12回以上	12回	きれいな生活環境の保持	不法投棄防止に向け、重点監視地点のパトロールを定期的の実施し、ごみの無いきれいな生活環境の保持に努めます。	○	月1回、年12回の重点監視地区のパトロールを実施しました。また、不法投棄の回収を行い、きれいな生活環境の保持に務めました。	継続してパトロールの実績について記録表に残し、ごみのないきれいな生活環境の保全につなげていきます。
4	市民の利便性向上に寄与するとともに、督促などの事務処理の軽減による業務効率化を図ります。		国民健康保険料ペイジー口座振替受付サービス申込件数	申込件数764件以上 (過去3年の実績平均)	811件	口座振替の利用促進	国民健康保険加入時に口座振替を推進し、収納率向上、業務効率化を図ります。	○	国民健康保険新規加入手続き時や納付相談、国保料の試算の際に、ペイジー口座振替受付サービスの案内をしました。積極的に案内を行ったことで目標を達成しました。	引き続きペイジー口座振替受付サービスを推進し、窓口において分かりやすい説明に取り組んでいきます。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聞く体制が整っていると思う市民の割合 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合		作成日	R6.4.1		
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	小須戸出張所				評価日	R7.3.31		
							○:達成 △:一部未達成 ×:未達成			
No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待にこたえられるよう、職員の市民対応の質を向上させ、市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行政1-1-①	・職場内研修の実施 ・専門研修への参加	・職場内研修6回 ・専門研修延べ10人以上	・職場内研修6回実施 ・専門研修参加延べ9人	・窓口対応力向上研修 ・スキルアップ専門研修	・職員が相互に講師を務め各制度への理解を深め対応力を向上させる。 ・区民生活課主催の専門研修に参加し各制度の理解を深める。	△	職員が講師となり、日常業務の習熟度を高める研修を6回行った。 また、区民生活課が開催する研修会に延べ9人が参加し、制度の理解を深めた。	信頼される出張所を目指し、日頃から職員の資質を高める取り組みを欠かさないことが大切と考えます。 このことから、研修の方法や内容について工夫しながら継続して取り組みます。
2	自主防災組織による防災訓練の実施など、幅広い世代が参加する地域防災活動を支援します。	政策13-1-①	・実施に向けた検討会への参加 ・小中学校の訓練への参加	・検討会への参加 ・小中学校の参加	・事前と事後を合わせ全検討会及び訓練に参加 ・小中学校が参加	・2コミ協防災訓練実施支援 実施日11月9日	・各種訓練内容へのアドバイスや小中学校の参加調整など検討会参加を通じて円滑な実施を支援する。	○	検討会や訓練当日の参加を通し、地域の支援を行うことができました。 訓練には域内の全児童生徒と自治会等が参加し、防災意識の醸成に寄与できました。	旧小須戸地区にある2つのコミ協が同日訓練に取り組んで3年になります。 両コミ協が相互補完し、災害に強い地域になるよう、さらに訓練を重ねていきます。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合 ・障がい理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)	作成日	R6.4.1
組織名(部)	秋葉区役所	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組みます。	政策7-1-②	認知症に関する普及・啓発活動実施回数(回)	12回	13回	・認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進 ・認知症に関する知識の普及・啓発	・認知症への理解を深めるため、区だより、FMIにいつ、ポスター等掲示による啓発活動を行い、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに努めます。	○	・認知症に関する普及・啓発活動として、区だより掲載4回、FMIにいつ5回、庁舎や区バスへのポスター掲示各1回を実施。 ・9月5日～10月1日までの間、新津図書館において認知症に関する企画展示を実施。 ・3月14日認知症講演会を実施し、21人が参加した。	・令和7年度も各種媒体を利用し、認知症の普及・啓発活動を行っていく。
	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力して健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。	政策7-2-①	障がい者理解講座の参加人数(人)	40人	48人	・障がい者理解講座 ・保護者支援講座	・障がいへの理解を深め、地域で支える仕組みづくりを考える機会とする ・療育教室などを利用している子どもの保護者を対象に、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進することで、不安感や孤立感の解消を図る		・新津健康センターにおいて、保護者支援講座を10月2日から11月6日の間、全6回の日程で実施。4人が参加した。 ・秋葉区文化会館において、「発達に障がいのある子を持つ親世代の老後を考える」をテーマに障がい者理解講座を3月1日に開催し、48人が参加した。	・令和7年度も精神障がい、発達障がい等をテーマに講座を開催し、障がいへの理解を進めていく。
		政策4-1-③ 政策4-3-① 政策4-3-②	子育てに関する講座等の開催回数(回)	小さな森の広場79回 パパママ銭湯24回 デイケアルームHUGママ24回 育ちの森講座41回 合計 168回	合計 168回 合計2,131人参加	・子育てサロン ・産前産後リフレッシュ事業 ・子育て講座	・地域で安心して子育てを行うための、ライフステージに応じた切れ目ない支援 ・上記に関する情報の発信(当課事業や育ちの森で開催する子育て講座の実施回数など)		・小さな森の広場を79回(1,044人参加)、パパママ銭湯24回(241人参加)、デイケアルームHUGママ24回(382人参加)、育ちの森講座41回(464人参加)、合計168回(2,131人参加)開催し、切れ目ない子育て支援を実施した。	引き続き各種事業において、子育て情報の発信し、子育て世帯を支援していく。 ・組織目標としては今年度で終了。
		政策4-1-③ 政策4-3-① 政策4-3-②	子育てサポーターの訪問希望割合(%)	母子手帳交付件数の80%以上	母子手帳交付件数の68.5%	・子育てサポーター訪問事業	・産前と産後に各1回の訪問を実施し、地域の子育て情報の提供や絵本のプレゼントを行う。 ・昨年減少した訪問希望者数を回復させるため、区だよりやSNS等を活用し、事業の周知を図る。		・母子手帳交付件数404件、訪問同意件数277件、訪問同意率68.5%(交付件数は、他区交付分、転入分を含む)。 ・子育てサポーターの訪問により、出産や育児の不安解消につながった。 ・区外転出予定者や第二子以降の出産などの理由により、訪問同意率が伸び悩んだ。	引き続き制度の周知に努め、子育てサポーターによる産前産後の母子支援に努めていく。 ・子育てサポーターの新規募集を区だよりで行い、訪問体制を強化していく。 ・組織目標としては今年度で終了。

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
2	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力して健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。	政策4-1-③	出張「妊娠・子育てほっとステーション」による子育て情報等の発信件数(回)	育ちの森12回 たんたん・どんぐり・ぽかぽか 各1回 合計15回	合計16回 (合計167人参加)	・子育て支援情報等の発信 ・保育コンシェルジュ等が、子育て支援センターなどへ出向き、ほっとステーションのPRや、入園、子育てについてその場で相談に応じる。	△	・育ちの森12回(125人参加)、たんたん1回(11人参加)、どんぐり1回(8人参加)ほか、当初予定にはなかった公民館からの依頼が2回(23人参加)あり、計16回(167人参加)訪問し、様々な子育て相談に応じることができた。	・突発的な訪問要請にも臨機応変に対応し、保育コンシェルジュ等によるアウトリーチ型の子育て相談会を引き続き開催していく。 ・組織目標としては今年度で終了。
		政策7-1-①	フレイル予防事業の参加延べ人数(人)	1,100人	1,575人	・フレイル予防教室、及び講座の開催 ・地域のイベントでのフレイル予防啓発事業 ・運動普及のため住民サポーターへの研修開催		・地域のお茶の間等で積極的にフレイル予防の普及啓発を実施し、延べ1,575人が参加した。 ・また、地域のイベント等では子どもに対しても普及啓発を実施した。 ・住民サポーターへの研修会を10月28日に実施した。「体操のポイントを教えてもらい良かった」「茶の間で活用したい」等の感想が聞かれ、地域での活動支援につながった。	・より身近な地域で、高齢者が歩いて行ける地域のお茶の間やイベント等で、フレイル予防やラジオ体操の啓発を行い、住民が主体となって健康づくり活動が行えるよう、令和7年度も引き続き支援を行う。 ・住民サポーターへの研修も、地域での活動支援のため、引き続き実施する。
		政策6-1-①	事業参加者の生活習慣の重要性に対する理解度(%)	90%	児童89.1% 保護者97.9%	小学校6年生が対象 ・ジュニアドック(生活習慣病健診) ・からだづくり講座		・ジュニアドックは6～8月の12日程(土曜含む)で実施し90人が受診した。 ・からだづくり講座は11月24日(日)に実施し、20組54人が参加した。 ・アンケート結果から、児童は目標に届かなかったものの、保護者は目標を上回り、親子で生活習慣の重要性について考える良い機会となった。	・3年間のジュニアドックの結果から、総合判定では要指導・要医療となった児童が約半数見られた(精密検査後、異常なしを含む)。今後は得られた結果を世代を問わず各種保健事業や地域のイベントなどにおいて周知を図り、運動を含めた健康的な生活習慣の実行が出来る様周知・啓発を図っていく。なお、ジュニアドックは一定の成果が得られたと判断し本年度をもって終了とする。 ・からだづくり講座については生活習慣に関して家族ぐるみで意識が改善する効果があったことから、引き続き令和7年度も別事業で実施する。 ・組織目標としては今年度で終了。
3	窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指します。	行財1-1-①	研修会実施回数(回)	7回	5回	課内研修の実施 ・各係の業務からテーマを設けて研修会を実施	×	・7係(担当)のうち6係が1回づつ開催し、計5回開催した。(うち1回は2係合同で実施)	・今後も係の枠を超えた業務連携が必要な為、可能な範囲で継続する。 ・組織目標としては今年度で終了。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・観光入込客数 ・農業産出額推計値 ・新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R6.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。		参加者アンケートにおける里山施設等への再訪意向(%)	50%以上	58%	・わくわく石油楽習事業 ・石油の世界館友の会と連携し、里山にある石油資源を活用した小学6年生向け講座の実施 ・里山文化(自然、施設、歴史等)に関する事前学習の実施 ・学校教科に即したテーマ(地層)を内容に加え、より地域を身近に感じてもらう		・各校および石油の世界館友の会に事前協議を行い円滑な事業を実施した。 ・区内小学校5校(結、小合東、小合、金津、新関)から155人が参加し、アンケート結果より58%の再訪を望む声を頂いた。 ・アンケートでは、学習内容や講師の説明に対し約7割から「わかり易い」の評価を得たほか、館内展示に関し過半数から「興味がわいた」と評価を得た。	・実施事業及びアンケートの集計内容を基に、これまでの事業効果を整理する。
		政策5-1-②	Akihaマウンテンレーパークの1日平均利用者数(人)	50人	47人	・里山未来創造事業 ・里山にある秋葉公園の自然を活かした、子ども達が自由に遊べる場「Akihaマウンテンレーパーク」の開設 ・SNS等を活用した子育て世代への発信力の強化 ・遊びの内容(手法や遊具)の充実	△	・33回開催、1,565人(平均47人)が利用した。(12月開催日の天候悪化) ・区だより、市報、LINEの発信に加え、PRチラシ配布等、広報を強化した。 ・体験会のほか、遊具の交換やウッドデッキを新設し、環境整備を実施した。	・SNS等の発信を強化し、利用者増加を図る。 ・利用者増加の底上げを目指し、利用者や体験会参加者の声を聞き、事業反映への検討を行う。
		政策10-1-②	観光案内所「あ！キハ」1日平均利用者数(人)	60人	104人	・アキハ「鉄道物語」 ・JRや商店街連合会、観光協会、鉄道資料館と連携した観光案内所(新津駅東口)の開設 ・レンタサイクルの貸し出し ・鉄道資料館等との連携企画の実施 ・鉄道に関連した取り組みや事業への支援		・SL運行日の観光案内所開設時間を拡大した。 ・鉄道資料館との連携によるSL25周年企画展を実施した。 ・鉄道イベント開催時に記念カードを配布した。	・各種関係先との連携事業の継続により、認知度向上と利用者拡大に向けた取り組みを図る。
2	緑豊かな里山や河川などの恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐべき貴重な財産と捉え、人と自然が調和した美しい景観の保全と活用を図ります。		廃止石油坑井封鎖事業	調査・検討	同左	・廃止石油坑井封鎖事業 有識者会議の意見を踏まえながら、石油井戸の封鎖に向けた測量や工事方法などを検討し、事前調査と関連工事を実施	○	・仮設道路工事、事前調査など本年度の事業を完了した。 ・有識者会議にて、調査結果から対象坑井は封鎖可能な意見を得た。	・次年度は小口地区坑井の封鎖を実施し、朝日地区坑井の調査に移行する。
3	「もち麦」を核に、農業・福祉・健康づくりの各分野で様々な取組を展開します。	政策9-1-⑤	「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数	13 事業	13事業	・アキハもち麦推進事業Vol.2 イベントへの出店や小学校への総合学習など販売促進、広報宣伝事業の実施	○	・フードメッセやイベントへの出展(店)、小学校総合学習等13事業を実施し販売促進、広報宣伝に努めた。	・今後は、国産の需要が見込まれる麦類への作付転換を進める取組(商品開発、パンまつりなど)へ移行する。
4	花木関係団体との連携による販路開拓やターゲットに合わせ、各取組を展開します。	政策9-1-⑤	花木関係団体との連携による販売促進事業数	3 事業	3事業	・花まる鉢花推進事業 ・園芸推進事業 各種関係団体との連携による展示PRや商談会の開催支援	○	・鉢花見本市は中止となったが買参人等関係者向けWEB版見本市を開設した。また、共催者とともに次年度に向けた検証を行った。 ・新日本海フェリー船内・ターミナルにおいてアザレアを展示した。 ・日本ボケ展を開催した。	・アンケート結果や関係者への聞き取りの検証を踏まえたWEB版見本市の改善を図る。 ・鉢花展示PRを継続する。
5	新潟薬科大学等との連携により互いの資源や成果を共有するなど交流を深め、教育機関の英知を活かした施策展開や地域との連携につなげることで、質の高いまちづくりを進めます。	行財3-2-③	大学等との連携事業数	8 事業	9事業	・新潟薬科大学等との連携事業 新潟薬科大学等の教員、学生との連携による事業の実施	○	新潟薬科大学等の教員、学生との連携による事業の実施 ・新津本町商店街アーケード清掃活動 ・朝日の森の会の活動①② ・朝日の森づくり体験 ・市民協働による里山整備事業 ・あきはSDGsトライ！ 新津川除草・クリーン作戦 ・鉄道イベント①② ・新津第一小学校文化祭	・今後も新潟薬科大学をはじめ関係者と連携し、各種調整を行うことで事業の継続を図る。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R6.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民からの苦情や要望等に対し、早期対応と適切な情報提供を行います。	行財1-1-①	通報等に対する24時間以内対応率(%) (途中経過説明を含む) 工事要望の進捗状況説明(回)	100 11	100 11	交通網の整備と持続可能な地域交通の確保	・道路や公園の異常箇所の修繕 ・工事要望の対応方針説明 ・除雪状況の情報提供	○	・緊急案件の24h対応率100%(838件/838件) ※緊急性のないものを含めた対応件数860件 ・地区懇談会における進捗状況説明の実施(7月~8月)	引き続き、地域からの通報や相談には、状況を確認したうえ、最適な対応を迅速に行います。
2	新津川や能代川沿いの遊歩道のほか、秋葉公園内の環境整備を秋葉区SDGsトライとして市民と協働で行います。	行財3-2-②	参加人数(人)	350	441	人と自然が調和した美しい景観の保全	・市民と協働で遊歩道周辺や秋葉公園の除草や刈払いを実施 ・秋葉公園リニューアルに向けて市民からの意見を聴取	○	・市民協働による環境整備活動 「あきはSDGsトライ新津川クリーン作戦」などの環境整備活動を計3回実施、合計441人が参加しました。 ◇あきはSDGsトライ新津川クリーン作戦:11月3日参加者300人 ◇新津川水仙球根植栽:11月3日参加者60人 ◇あきはSDGsトライ秋葉公園クリーン作戦:11月16日参加者81人(子育て世代に呼びかけを行い、スタンプラリーを同時開催) ・秋葉公園リニューアルに向けた取り組み 「秋葉公園魅力アップ事業」で、支障木の伐採や伐採木の利活用を試行しました。 職員研修(クヤクショーシング)を活用して区内部での「秋葉公園リニューアルコンセプト(案)」を作成しました。	・市民協働での環境活動により多くの方から参加いただき、持続的な活動とするためには、担い手となる子育て世代や学生・若者への周知・啓発が重要です。関係団体と連携しながら多方面での広報・周知活動を進めます。 ・リニューアルコンセプト(案)を基に、地域関係者と一緒に、「にぎわいゾーン」を中心とした活性化や利便性向上に向けた検討を進めていきます。
3	工事・委託の早期発注に努め、上半期発注率の向上を図ります。		上半期発注率(%) (発注件数/当初予定件数)	80	96	交通網の整備と持続可能な地域交通の確保	・道路や公園の維持及び整備 工事の発注 ・設計や管理業務委託の発注(維持係26件 まちづくりG24件)	○	・上半期発注状況 維持係(26/26)+まちづくりG(22/24)=48/50=96%	引き続き、当初事業の速やかな発注に努めます。
4	職員の資質向上や効率的な業務を遂行するため、各種研修などへ積極的に参加し情報共有を図ります。	行財1-4-①	3回以上の研修への参加人数(人) 課内研修の実施(回)	25 6	25 6		・専門分野の土木技術研修や市主催の職員研修などへの参加 ・課内研修などで他の職員へフィードバック	○	・3回以上の研修参加者課内全員 ・課内研修実施状況 6月28日 8月27日 9月27日 10月30日 11月29日 12月11日	引き続き、職員の資質向上や効率的な業務を遂行するため積極的に外部研修等に参加を促します。また課内研修等で職員へのフィードバックをするとともにプレゼン力の向上を図ります。